平成２４年度
福知山市予算案の概要

平成２４年２月

福知山市

目　　次

１　当初予算の規模

２　北近畿をリードする創造性あふれるまち
『福知山』実現プラン~大いなる飛躍をめざして~

３　財政健全化の推進

４　一般会計予算のポイント

１　当初予算の規模

骨格型予算を編成

平成２４年度予算編成は、平成２４年６月（予定）に市長選挙が行われるため、「骨格型予算」とし、政策的な経費をのぞく人件費・公債費、既存施設の維持管理費などの義務的経費、継続事業を計上した。

一般会計総額　３７６．９億円　（前年度比　△１９億１，０００万円　△４．８％）

予算総額

単位：百万円

	H24	H23	増減額	増減率
一般会計	37,690	39,600	△1,910	△4.8%
特別会計	22,234	25,391	△3,157	△12.4%
企業会計	17,662	13,501	4,161	30.8%
合　計	77,586	78,492	△906	△1.2%

２　北近畿をリードする創造性あふれるまち
『福知山』実現プラン~大いなる飛躍をめざして~

第４次総合計画後期計画の着実な推進

Ⅰ　市民協働でつくるコミュニティ豊かな自立したまち

〇みんなで進める人権尊重・住民自治のまちづくり
〇地方分権の推進に対応した行財政効率の高いまちづくり

Ⅱ　定住と交流の活力あるまち

〇人・物・情報が行き交う交流・連携のまちづくり
〇地域の個性と資源を生かす産業創造のまちづくり

Ⅲ　人と自然が調和し、すこやかに安心して暮らせるまち

〇地域で支えるみんなにやさしい健康・福祉のまちづくり
〇人と自然が共生する安心・安全・快適環境のまちづくり

Ⅳ　明日を担う創造力あふれる人材育成のまち

〇魅力ある人とまちを創り出す教育・文化のまちづくり

Ⅰ　市民協働でつくるコミュニティ豊かな自立したまち

〇みんなで進める人権尊重・住民自治のまちづくり
〇地方分権の推進に対応した行財政効率の高いまちづくり

（　）は主要事項説明書のページ

市民参加型まちづくり推進事業　　３８４万円　継続　(1)

協働型社会を実現するための具体の方策を策定するため、「市民協働推進会議」を平成23年度に続いて開催し、市民意識の向上を図るとともに、市民協働を推進する公共人材の育成を図ります。

元気出す地域活力支援事業　　２６０万円　継続　(2)

地域住民が主体的に参画している団体などが行う地域の連携強化や活性化に向けた事業を支援します。H23年度から「若者創造枠」を設け、若者のイベント・まちづくり活動を支援しています。

新規　**地域特産品開発事業　　２０万円**　(3)

次世代を担う中学生ならではの斬新な発案により、三和、大江の資源を生かした地域特有の加工品を開発し、地域の特産品につなげていく商工会の取り組みを支援します。

新規　**若者参加型「まちの魅力アップ　アイデア発見」事業　　１０万円**　(4)

ふるさと福知山の未来が光り輝くような施策のアイデアを若者から募集し、その中から事業効果が見込まれる提案について具現化を図ります。

新規　**市制施行７５周年記念式典事業　　２０５万円**　(5)

昭和12年4月1日福知山市制施行以来、75周年の節目を迎えるにあたり、市民挙げてこれを祝賀するとともに、市の発展に貢献された方々の功績を称える式典を開催します。

新規　**ペイジー口座振替受付サービス事業　　６０９万円**　(7)

今まで印鑑を用いて行っていた口座振替に関わる申請を、キャッシュカードを用いて電子的に行えるよう機器等を整備します。

元気出す地域活力支援事業（若者創造枠）
（写真：JR福知山駅北口でフリーマーケットを開催）

市制施行75周年記念式典事業
（写真：市制施行70周年記念式典の様子）

市民参加型まちづくり推進事業
（写真：平成23年度福知山市市民協働推進協働会議
グループワークの様子）

Ⅱ　定住と交流の活力あるまち

○人・物・情報が行き交う交流・連携のまちづくり
○地域の個性と資源を生かす産業創造のまちづくり

公共交通の強化

新規

まちなか循環路線バス運行事業　　１，６００万円　(8)

「まちなかバスを考える市民会議」からの提言を受け、「まちなか循環路線バス」を新たに運行を開始します。低床のユニバーサルデザインで、市民に親しまれる外装を施した小型バスを市が購入し、運行する民間バス事業者に貸与します。

交通空白地域移送サービス支援事業　　３００万円　継続　(9)

三和・夜久野・大江地域等の登録会員の移送をおこなうNPO法人等による過疎地有償運送事業を支援し、交通空白地域に居住する高齢者等の移動手段を確保します。

高校生定期乗車券補助事業　　３６９万円　継続　(10)

路線バスや鉄道を利用して遠距離通学する高校生の定期乗車券購入費用の一部を助成することにより保護者の負担軽減を図るとともに、安心安全な通学手段の確保と公共交通の利用促進を図ります。

道路等の整備

街路事業（多保市正明寺線 高畑工区）　　１億７，０２７万円　継続　(14)

東部地域と中心市街地とを結ぶアクセスを強化し、長田野工業団地と国道175号との交通の流れをスムーズにするため、車道幅員を広げ、歩道を設けた橋梁に架け替えます。平成24年度は用地買収・物件補償・及び左岸橋台の築造を行ないます。

新規

長田野工業団地花いっぱい事業　　２５０万円　(15)

長田野工業団地の玄関口となる前田岩間南・北インター線ロータリー内空地に花の植え付けを行い、工業団地のイメージアップとともに交通安全対策、不法投棄の防止を図ります。

雇用の確保

緊急雇用特別対策事業　　１億７，７８４万円　継続　(17)～(18)

依然として厳しい雇用失業情勢のもと、京都府緊急雇用対策基金を活用して、失業者に対し、次の就職までのつなぎとなる雇用の機会を創出します。

試行雇用おうえん助成金交付事業　　７２４万円　継続　(19)

就職が困難な求職者を試行的に短期間雇用（原則3カ月間）する企業に対し、助成を行い、就職困難者の雇用機会の増加と企業の人材確保を図ります。

再就職おうえんスキルアップ助成金給付事業　　２６３万円　継続　(20)

資格取得等を目的とした講座の入学金と受講料の3分の2を助成金として交付し、再就職に向けて資格取得(スキルアップ)等に取組む求職者を支援します。平成23年度末の終了予定を、事業期間を延長し実施します。

起業おうえん助成金交付事業　　６５万円　継続　(21)

創業関連の制度融資の利用者に対して、貸付実行後の償還1回目から6回目分の金利相当分を全額助成金として交付し、新規開業に係る負担を軽減します。

商工業の振興

小規模企業融資制度事業「マル福」　　２，１４８万円　継続　(23)

京都府の「小規模企業おうえん融資」を利用する小規模企業に対して利子補てんし、小規模企業の金利負担を軽減します。

拡充　**中心市街地テナントミックス推進事業　　３３０万円**　(25)

中心市街地活性化基本計画に基づき、福知山まちづくり㈱が国の補助金の採択を得て、空き家や空き店舗等を活用したテナントミックス事業を行う場合に補助を行います。

新規

福知山城憩いの広場（ゆらのガーデン）管理事業　　４８０万円　(28)

福知山まちづくり㈱と連携して整備した新たな街のシンボルとなる福知山城憩いの広場（愛称「ゆらのガーデン」）を、四季の彩に満ちた和みの空間として、継続的な維持管理を行い、集客性を高めます。

企業誘致促進特別対策事業　　５，１６５万円　継続　(30)

長田野工業団地アネックス京都三和の企業誘致活動を展開するとともに、既存企業の増設等を支援し、企業の市外流出を防ぎ、地域経済の活性化、雇用の創出、若者の定住を促進します。

観光の振興

福知山「藍のれん」プロジェクト事業　７５万円　継続　(31)

商店街や町家を中心として藍染のれんの購入費に補助金を交付し、藍染のれんを活用した景観形成に取り組みます。

新規

観光ガイドブック製作事業　２６５万円　(32)

福知山市の見どころやおいしいもの、祭りなどの多彩な観光情報を一冊にまとめた旅行ガイドブックの特別編集版を発行し、本市の魅力を全国に発信することにより、観光客の誘致を図ります。

平成の城下町福知山賑わいづくり事業　５２万円　継続　(33)

手づくり甲冑教室を開催したり、映画やドラマなどのロケ地に有望な場所を100か所選定し、ロケ地として誘致するなど、「城下町福知山」に新たな魅力を加えることで、観光客を誘致し、賑わいの創出を図ります。

拡充

観光おもてなしプラン促進事業　４０万円　(35)

「歓迎」フラッグを作成し、市内飲食店等の店頭へ掲げて、おもてなします。

観光客に歴史・文化・観光スポット等、福知山市の魅力をより効果的に案内することができるよう、観光ガイド養成講座を開催し、観光案内人の資質向上を図ります。

特産品活用による三和地域活性化事業　１００万円　継続　(36)

学校給食センター建設予定跡地を拠点とした地域特産物の直販施設の地域活性化計画の立案企画を行うため、市民公募により立ち上がった「丹波みわ活性化協議会」に補助金として助成します。

大雲水辺の里づくり事業　２０万円　継続　(37)

由良川を通して地域間交流を推進するため、大雲水辺の里づくり研究会に補助を行います。

新規

国定公園からの贈り物事業　１２万円　(38)

丹後天橋立大江山国定公園である大江山の麓にある河守鉱山跡を、大江山に自生する「日向水木（ﾋｭｳｶﾞﾐｽﾞｷ）」で緑化するため、市民・企業ボランティア（育苗隊）を募って、苗木の育苗を行います。

農林業の振興

拡充

ふるさとの味再生事業　　３０万円　(39)

平成24年度から果樹も対象

「山ぶき」や「みょうが」などの山菜と「銀杏、栗、柿、梅」などの果樹の植栽に係る資材費に対する1/3を支援し、山間地域の農地の有効活用と集落の活性化及び農家所得の向上を図ります。

丹州材活用促進事業　　２００万円　継続　(41)

福知山産材である丹州材を使用して個人住宅を新築・改築した場合に支援します。

有害鳥獣捕獲事業　　５，８５７万円　継続　(47)

鳥獣被害の減少を図るために、鳥獣被害対策実施隊委託や有害鳥獣広域捕獲などを実施します。

拡充

有害鳥獣防除事業　　１，４２１万円　(48)

補助対象経費の上限額を800円／mから1，600円／mに拡充

電気柵や金網柵の設置を行う農林業団体に対して資材費を支援します。また、山林に実のなる広葉樹の植栽や里山などの森林整備を進め、野生生物との共生の森づくりを図ります。

ふくちの農山村応援事業　　２６６万円　継続　(52)

農山村地域の人口減少と少子高齢化の進行に伴う農林業の衰退、集落機能の低下などに対応するため、対象集落を拡大して、地域の実情に合わせた支援を行い、集落の維持、再生、活性化を図ります。

共に育む「命の里」事業（畑地区）　　３０５万円　継続　(54)

夜久野町畑地域において、集落連携組織が行う集落再生活動に対して、府・市が支援するもので、地域が望む将来像、必要な取組みや進め方などをまとめた里力再生計画を策定し、住民主体の地域活性化の取り組みを進めます。

まちなか循環路線バス運行事業

（写真：：宮城県名取市コミュニティバス「なとりん号」（事例））

長田野工業団地花いっぱい事業

（写真：前田岩間南・北インター線ロータリー付近の植栽予定箇所）

福知山城憩いの広場（ゆらのガーデン）管理事業

（写真：福知山城憩いの広場（ゆらのガーデン）完成予想図）

福知山「藍のれん」プロジェクト事業

（写真：藍のれんプロジェクト事業補助金で完成した藍染めのれん）

平成の城下町福知山賑わいづくり事業

（写真：甲冑教室で甲冑を製作中）

国定公園からの贈り物事業

（写真：蛇紋岩地等の痩せ山に生える落葉低木のヒュウガミズキ【大江山自生】）

有害鳥獣捕獲事業

（写真：鳥獣被害対策一斉捕獲出発時の様子）

Ⅲ　人と自然が調和し、すこやかに安心して暮らせるまち

〇地域で支えるみんなにやさしい健康・福祉のまちづくり
〇人と自然が共生する安心・安全・快適環境のまちづくり

子育て支援の充実

こんにちは赤ちゃん事業　　１６２万円　継続　(56)

生後4カ月までの乳児のいる家庭を訪問し、育児に対するさまざまな不安や悩みを聞き、また子育て支援に関する情報提供などの支援を行います。

拡充

放課後児童クラブ運営事業　　１億７６３万円　(57)

支援が必要な児童のための支援指導員を配置

直営クラブに代表者を置き、組織体制の強化と児童の健全育成を図ります。平成24年度からは、支援が必要な児童のための支援指導員を雇用するなど拡充を図ります。

ふくふく医療費支給事業　　６，９２０万円　継続　(58)

3歳以上から小学6年生までの入院外（通院）の医療費を助成し、子どもの健康の保持・増進を図るとともに、子育て家庭の経済的負担を軽減し、子育て支援を推進します。

新規

民間保育所施設整備事業　　８，９５３万円　(60)

老朽化した民間保育所の改築及び大規模修繕等に対し補助金を交付し良好な保育環境を整備します。

高齢者福祉の充実

介護予防安心住まい推進事業　　９０万円　継続　(64)

要支援・要介護状態になるおそれの高い高齢者の、生活機能の向上や転倒事故防止等のために住宅改修にかかる費用の一部を助成します。

拡充

外出支援助成事業　　２，１１３万円　(65)

福祉有償運送事業所の運営を支援するため、事務費を7.5%から10%に拡充

通院等にかかる外出手段を持たない在宅高齢者の外出を支援します。

新規 **安心生活見守り事業　７９１万円** (66)

ひとり暮らし高齢者等を対象に、緊急・相談通報装置を希望者に設置し、急病や事故等の緊急時の対応、日常生活における健康・介護・医療等の相談や助言を24時間・365日対応し、安心・安全を確保します。

重度心身健康管理事業　１億２，９８１万円 継続 (67)

75歳以上（障害認定者は65歳以上）の後期高齢者医療制度の対象者のうち、障害者手帳等の交付を受け、障害の等級等が該当となる場合に、自己負担金を助成します。

障害のある人の福祉の充実

拡充 **福祉医療費（障害）給付事業　２億３，８６６万円** (68)

京都府福祉医療助成制度の対象拡充により、訪問看護療養費を助成

75歳未満の重度・中度の障害がある人に係る医療費の負担を軽減します。

新規 **視覚障害者情報支援事業　１８万円** (69)

視覚障害のある人への情報提供及び同行援護の充実を図ることで、社会参加を促進します。

市街地・集落整備

まちなか居住応援事業　１００万円 継続 (72)

中心市街地に、一戸建ての居住用個人住宅を新築または購入された場合に定額10万円を助成します。

中心市街地活性化まちづくりプロジェクト応援事業　１００万円 継続 (73)

福知山城周辺の活性化やまちなか居住の推進など、中心市街地活性化への具体策の仕組みづくりについて支援し、中心市街地活性化基本計画の推進を図ります。

きめ細かな安心安全事業　１５０万円 継続 (74)

各支所エリア内での住民の安心安全を確保するため、重要かつ緊急に対処しなければならないと支所長が判断する修繕等を行います。

消防・救急・防災対策の強化

（仮称）総合防災センター建設事業　６，３１４万円　継続　(75)

総合防災センター高機能消防指令システム等を整備し、平成24年度に運用を開始します。

拡充

地域防災計画整備事業　４６８万円　(76)

高浜原子力発電所のUPZ30km圏内に市の一部が入ることから新たに原子力対策計画編を策定します。

東日本大震災等の教訓を踏まえ、福知山市地域防災計画一般計画編及び震災対策計画編の見直し、充実を図ります。

防災行政無線整備事業　２，４７０万円　継続　(77)

京都府により「土砂災害警戒区域」の地域指定の行われた自治会のうち、有線放送設備がない地域に、防災行政無線で制御する戸別受信機の整備や浸水危険地域などに屋外拡声子局を設置します。

拡充

災害時資機材整備事業　３１４万円　(78)

間仕切りセット、アルミマット、アルファ米など、原子力対策にも対応できる資機材整備を行います。

浸水等による孤立が予想される広域避難所の見直しを行い、平成24年度から非常食をパンケーキに順次変更し、非常食及び飲料水を備蓄します。

新規

被災者支援システム導入事業　２９０万円　(79)

地震などの災害発生時に、市民の安否やり災証明の発行、義援金の支給状況などの被災関連情報と住民基本台帳のデータを一元管理できるシステムを整備します。

拡充

河川維持管理事業　９５０万円　(81)

河川の流下能力を確保するため、河川内の土砂を浚渫する費用を拡充

公共災害復旧事業の対象外となった被災箇所を中心として、護岸補修・河床洗掘補修等の工事を実施します。

市庁舎耐震化改修事業　６８０万円　継続　(82)

災害時における災害対策本部機能を担う施設として、市民の安心・安全を確保するため、市役所本庁の耐震化を行います。平成24年度は、耐震改修工事にかかる実施設計を行います。

消防庁舎耐震化改修事業　　２７０万円　継続　(83)

災害時における災害対策の拠点施設として、市民の安心・安全を確保するため、消防署北分署の耐震化を行います。
平成24年度は、耐震改修工事にかかる実施設計を行います。

生活空間の整備

三段池公園カルチャーパーク整備事業　　２，５００万円　継続　(84)

城山の園路・ベンチ・四阿など整備し、スポーツ・レクリェーション活動など、多目的な総合公園として整備を進めます。

南天田団地建替事業　　３億２，６９６万円　継続　(86)

平成18年度から26年度を事業期間として、RC造6階建て、2棟64戸への建替事業を進めています。平成24年度は、
道路整地ほか造成事業と建設工事を行います。

環境エネルギー対策

環境基本計画推進事業　　１２０万円　継続　(87)

環境基本計画（後期5か年計画）の重点施策の推進や、「みどりのカーテン」実施率日本一に向けた事業、みどりの親善大使「ゴーヤ先生」の活動支援を行います。

住宅用太陽光発電システム設置事業　　９３０万円　継続　(88)

住宅用太陽光発電システムを設置する市民に、設置費用の一部を補助し、地球温暖化防止の推進を図ります。

(P.28)

Ⅳ　明日を担う創造力あふれる人材育成のまち

○魅力ある人とまちを創り出す教育・文化のまちづくり

学校教育の充実

新学校給食センター建設事業　　１３億５，３０１万円　継続　(90)

既施設の老朽化や、ドライシステム方式に対処するとともに中学校給食を実施していくため、平成25年度の運用開始をめざし、新学校給食センターを整備します。

新規

（仮称）夜久野学園整備事業　　２億２，６１４万円　(92)

夜久野地域の3小学校を統合し、夜久野中学校と施設一体型の小中一貫校「（仮称）夜久野学園」を平成25年4月に開校するため、必要な校舎建設と整備、備品購入を行うとともに、スムーズな移行を図る準備を行います。

まなびのつながり強化推進事業　４３５万円　継続　(94)

連続性のある学校教育（まなび）を実践する「シームレス学園構想」を推進するために、小学校体験入学会や校種間等連携授業、小中一貫連携教育コーディネーターの配置等を行います。

拡充

心の安定基地つくり推進事業　７３８万円　(95)

臨床心理士の配置日数を、週2.5日から3日へ拡充。

学校と連携を密にして、不登校児童生徒宅の訪問や情報交流等を通して児童・保護者を支援するとともに、学校に訪問指導員を配置し、適切な援助や指導体制をとり、不登校児童生徒の減少と自立を目指します。

小中学校・幼稚園耐震改修事業　７，５６４万円　継続　(97)

安全・安心の観点から小中学校及び幼稚園施設の耐震化を促進します。

文化・スポーツ活動の推進

新規

福知山市ジュニア文化賞表彰事業　　１０万円　(100)

高校生以下のジュニアを対象に文化大会・各種のコンクール等における全国6位以内、近畿1位に相当する成績をおさめた者を表彰します。

（仮称）福知山北部地域多目的グラウンド整備事業　　１億４，５００万円　継続　(102)

岩井地内に平成24年度の完成を目指して、全市的なスポーツ大会等での利用もできる多目的のグラウンドを整備します。

体育施設設備整備事業（耐震化分）　７５３万円　継続　(103)

体育施設や災害時の避難所である施設の耐震化を行います。平成24年度は、耐震改修工事にかかる実施設計や耐震診断を行います。

生涯学習の振興等

拡充

地区公民館育成事業　　１，２５９万円　(104)

地区公民館の支援を強化し、地域づくりや地域活性化の推進を図るため活動に対する補助金を増額し交付します。

勤労青少年ホーム耐震診断事業　１８０万円　継続　(105)

勤労青少年ホームを、子ども達の今日的課題を克服し、教職員の資質の向上を図る教育振興センターに機能変更を行うため、耐震診断を行います。

放課後児童クラブ運営事業

（写真：平成23年度放課後児童クラブの様子）

※画像を調整しています。

（仮称）総合防災センター建設事業

平成24年度から運用開始

南天田団地建替事業

平成26年度完成予定　平成24年度は第2期棟（図中左棟）に着手

三段池公園カルチャーパーク整備事業

平成24年度に園路・ベンチ等を整備する城山

新学校給食センター建設事業

平成25年度から市内全中学校で給食を開始

小中学校・幼稚園耐震改修事業

（写真：平成23年度耐震補強工事
（惇明小学校特別教室棟））

（仮称）夜久野学園整備事業

（写真：（仮称）夜久野学園として整備する
現夜久野中学校）

３　財政健全化の推進　～持続可能な財政構造の確立～

財源捻出額　4億5,566万円

①　行政内部経費等のスリム化　　△　1億4,061万円

- **特別職等給与の削減（継続中）**（通常分）　△139万円

  市長△15% 副市長△10% 教育長 △5%

  ※市長任期（6月19日まで）

- **一般職給与の削減**

  （特別会計を含む。）　△ 1億3,922万円

  - 職員数削減　△14人、給料のマイナス改定　（ △ 1億1,909万円）
  - 超過勤務手当削減　△10%　（選挙、消防職員夜間勤務分等を除く。）　（ △ 2,013万円）

② 基金取り崩しの抑制

- 財政調整基金・減債基金の取り崩しはせず予算を編成
- 基金残高 前年度に比べて７．０億円の増

③ 市債発行の抑制

- 一般会計の市債発行額は前年度に比べて △２．０億円、△４．０%

（普通会計では、△１．７億円、△３．３% ）

- 全会計の実質的な市債残高は496．３億円となり、前年度に比べて △１５．１億円、

普通会計でも △５．４億円

※普通会計は、一般会計に地域情報通信ネットワーク事業特別会計を加えた想定会計

④ 財源確保対策

3億1,505万円

市有財産の積極的活用と未利用財産の売却

2億8,800万円

- 市有財産の貸付・活用や未利用財産の積極的な売却処分による財源確保

広告収入の積極的確保

178万円

- 市が保有する財産・資源の有効活用による広告収入、寄附付き広告による積極的な財源確保（公用車、市ホームページバナー広告など）

市税等の収納率の向上

2,527万円

- 納期内納付を図るための口座振替の推進や京都地方税機構の積極的な取り組みにより収納率向上による財源確保

⑤　特別会計・企業会計の健全化

- 土地区画整理事業特別会計の累積赤字を縮減
- 市民病院事業会計の単年度収支の改善
- 下水道事業の公営企業化による経理の明確化

⑥　土地開発公社の経営改革の推進

- 土地開発公社の清算に向けた取り組みを関係機関等と連携を図りながら進める。

4　一般会計予算のポイント

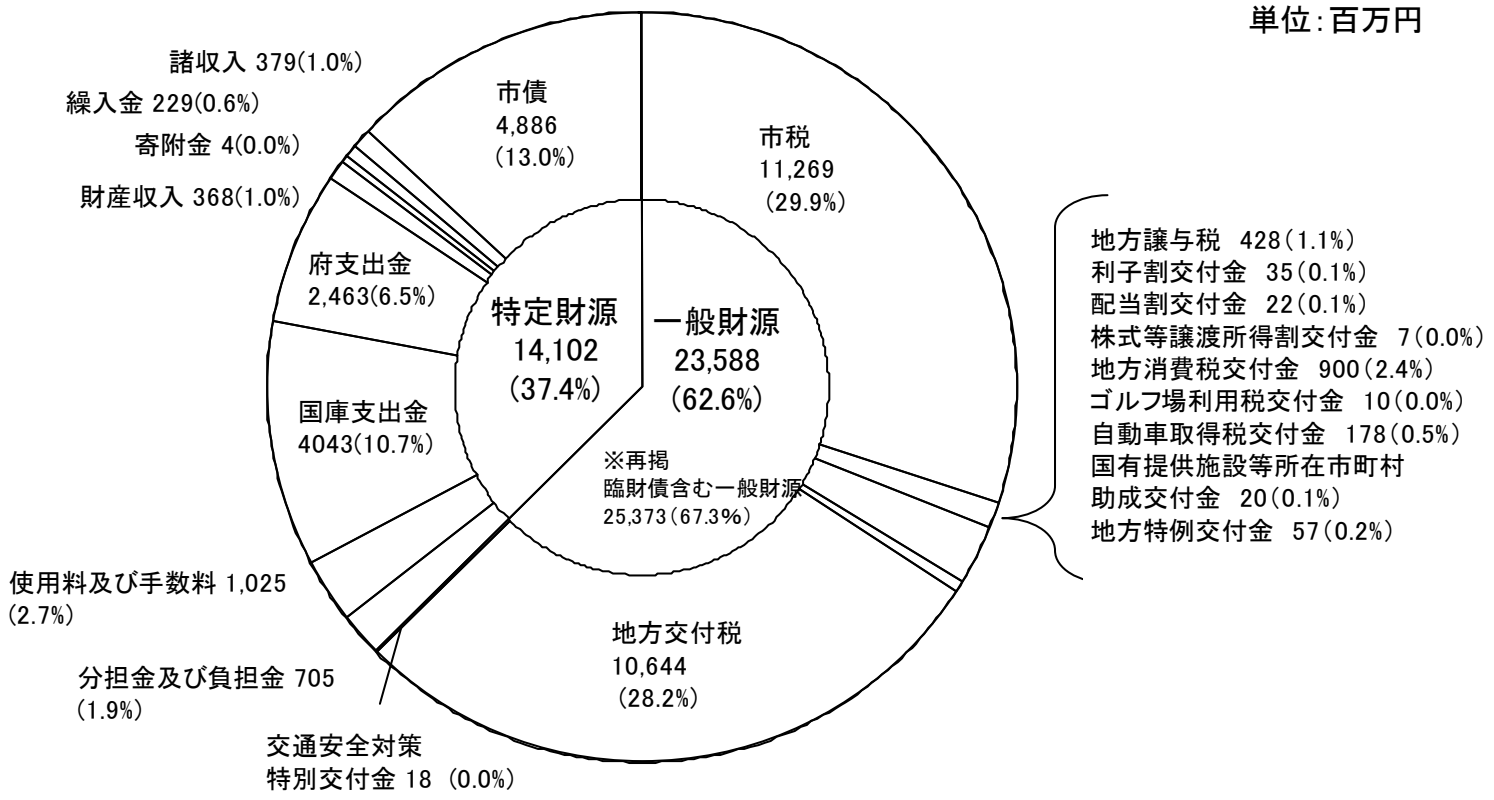
①歳入

- 市税は3億7,100万円、3.4%の増加
  - うち個人市民税は3億4,200万円、11.3%の増加
- 地方交付税は△ 4億200万円、△3.6%
- 市債発行額は△2億100万円、△4.0%
  - 臨時財政対策債を除く市債発行額は△1億6,500万円、△5.0%
  - 合併特例債を除く市債発行額は3億8,400万円、47.1%の増加

単位：百万円

主な項目	H24	H23	増減額	増減率
市　　税	11,269	10,898	371	3.4
うち個人市民税	3,371	3,029	342	11.3
地方交付税	10,644	11,046	△402	△3.6
市　　債	4,886	5,087	△ 201	△ 4.0
うち臨時財政対策債を除いた市債発行額	3,101	3,265	△ 164	△ 5.0
うち合併特例債発行額	1,901	2,450	△ 549	△ 22.4
うち合併特例債を除いた市債発行額	1,200	816	384	47.1

一般会計歳入内訳（376.9億円）



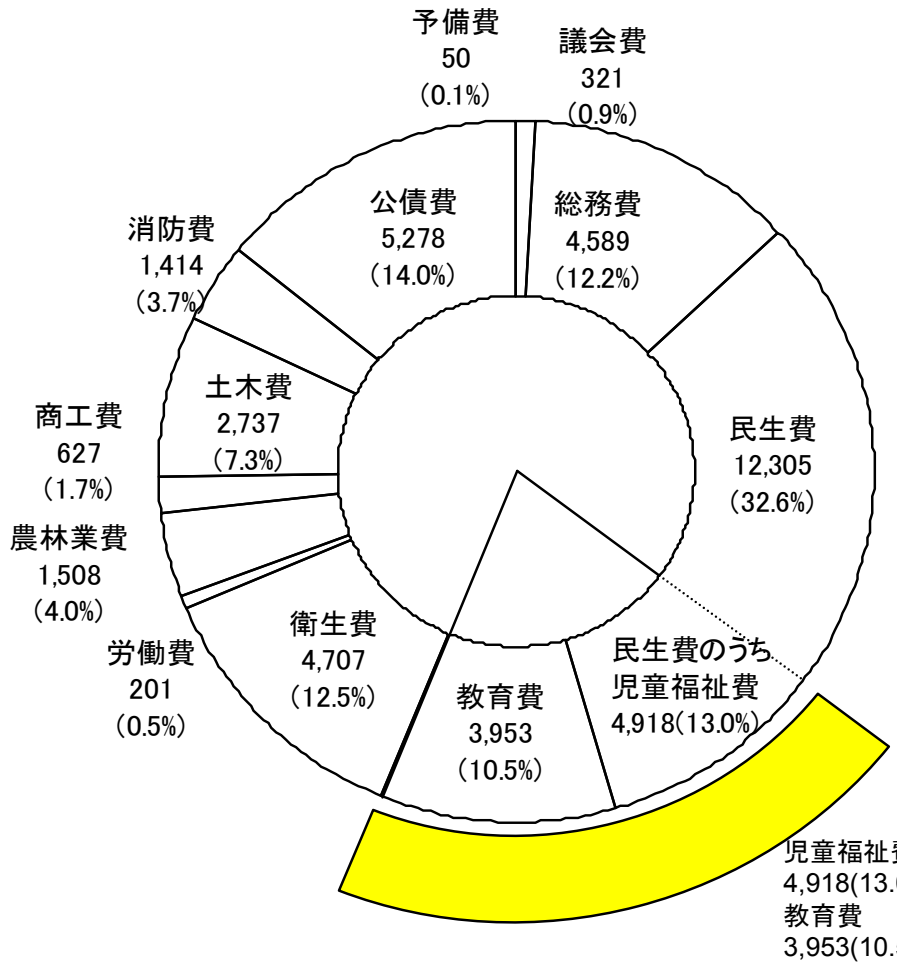
②歳出（目的別）

- 教育費は、新学校給食センター建設事業、（仮称）夜久野学園整備等により、構成比で10.5%となり、前年比2.4ポイントの増加
- 消防費は（仮称）総合防災センター建設の減等により△11億8,900万円、△45.7%
- 商工費はふるさと融資等により、1億1,700万円、22.9%の増加

単位：百万円

増減が大きい主な項目	H24	H23	増減額	増減率	構成比
教育費　①	3,953	3,199	754	23.6	10.5
商工費	627	510	117	22.9	1.7
民生費	12,305	12,323	△18	△0.1	32.6
うち児童福祉費（子育て支援）　②	4,918	5,147	△229	△4.4	13.0
農林業費	1,508	1,808	△300	△16.6	4.0
土木費	2,737	3,874	△1,137	△29.3	7.3
消防費	1,414	2,603	△1,189	△45.7	3.7
総　額	37,690	39,600	△1,910	△4.8	
いわゆる教育予算　計（①+②）	8,871	8,346	525	6.3	23.5

一般会計歳出内訳（376.9億円）



目的別区分による分類

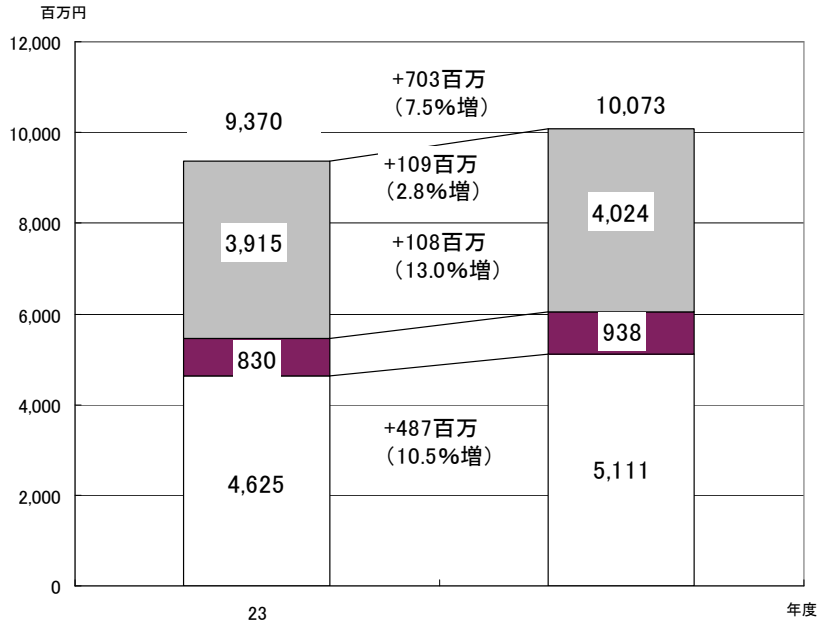
単位：百万円

③ 財政状況の概要 （基金残高）

- 財政調整基金・減債基金の取り崩しはせず予算を編成
- 基金残高は前年度に比べて 7.0億円増加

（単位：百万円）

	基金の額		前年度比	
	H23	H24	増減額	増減率
財政調整基金	3,915	4,024	109	2.8%
減債基金	830	938	108	13.0%
特定目的基金	4,625	5,111	486	10.5%
合　計	9,370	10,073	703	7.5%

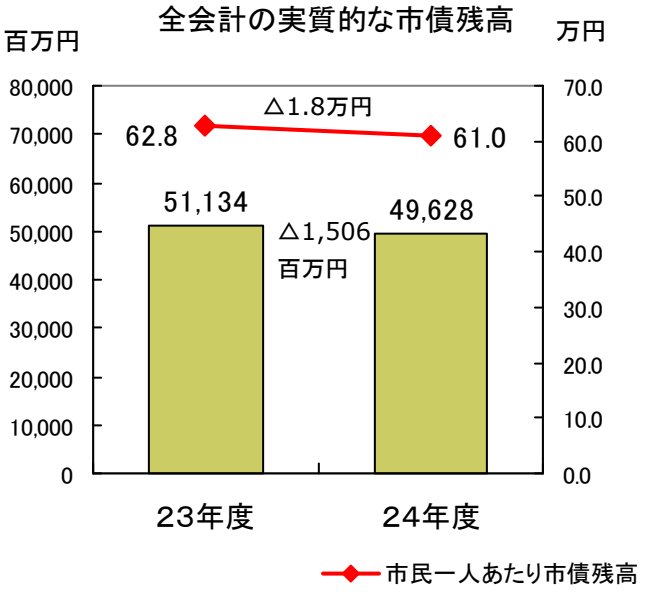


④ 財政状況の概要 （市債残高）

- **全会計の実質的な市債残高(＊)は496.3億円となり、前年度に比べて△15.1億円**
- **全会計の市民1人あたり実質的な市債残高(＊)は、61万円で前年度に比べて △18,000円**

（＊）交付税の財政支援措置控除後の市債残高

単位：百万円

	H23		H24		増　減	
	市債	実質的な市債①	市債	実質的な市債②	増減額 ②－①	増減率
普通会計	52,480	20,422	52,673	19,887	△535	△2.6
全会計	103,034	51,134	101,664	49,628	△1,506	△2.9
市民一人あたり実質的な市債残高						
普通会計		25.1万円		24.4万円	△0.7万円	△2.6
全会計		62.8万円		61.0万円	△1.8万円	△2.9

★人口はH23年3月末人口81,407人で算出
★普通会計は、一般会計に地域情報通信ネットワーク事業特別会計を加えた想定会計です。